LIXIL

保証書付

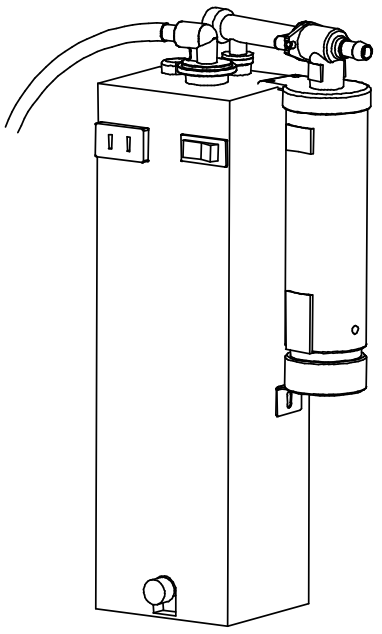
小型電気温水器
（自動水栓専用 元止め式）

品番
EHMN-T1S2
EHMN-T1S2-SU

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。

説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承願います。
※保証書は紛失しないよう大切に保管してください。紛失した場合修理が有料となる場合があります。
※転居される場合、次に入居される方に、この説明書と保証書をお渡しください。



工事店様へのお願い

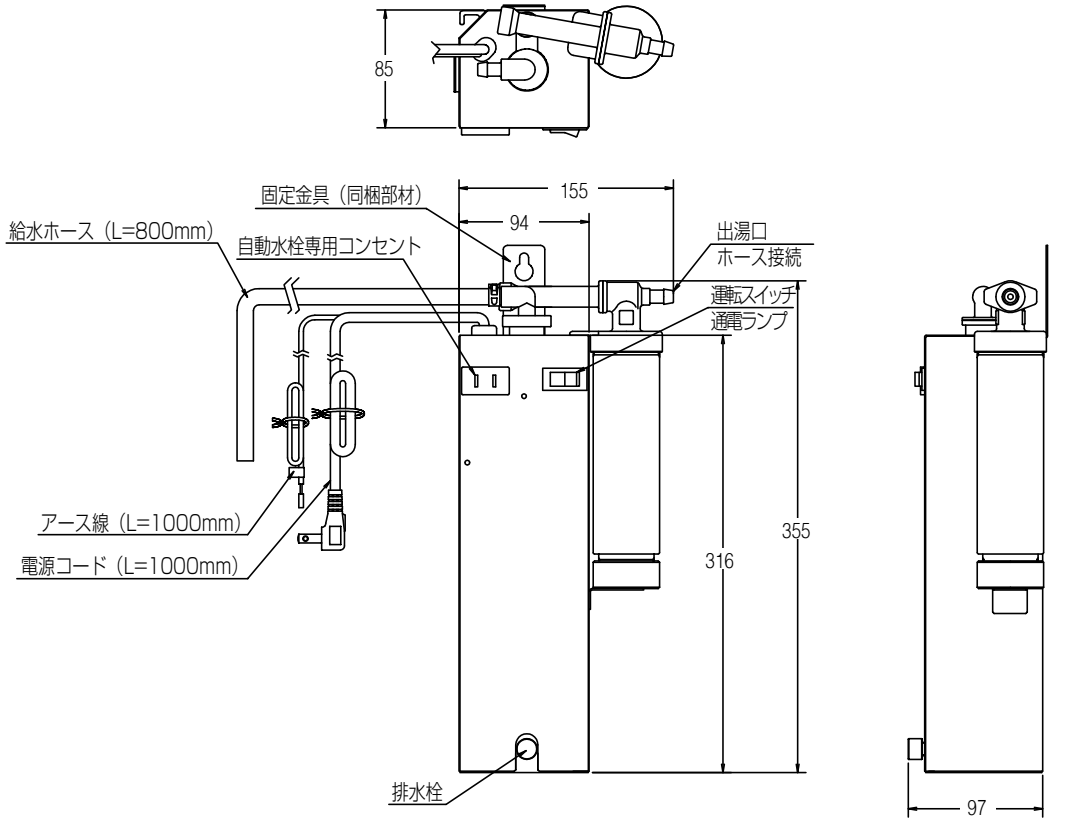
貴店名ならびに引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。
また、定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

もくじ

- 各部のなまえ……1
- 安全上のご注意……2
- ご使用前のご注意……5
- ご使用方法……7
- 使用上の注意……8
- 冬季凍結の恐れがある場合 ……9
- 長期間使用しない場合 ……9
- 日常の点検……11
- 故障かなと思ったら ……12
- アフターサービスについて ……14
- 仕様 ……15
- 保証書……裏表紙
- 問い合わせ先 ……裏表紙

各部のなまえ

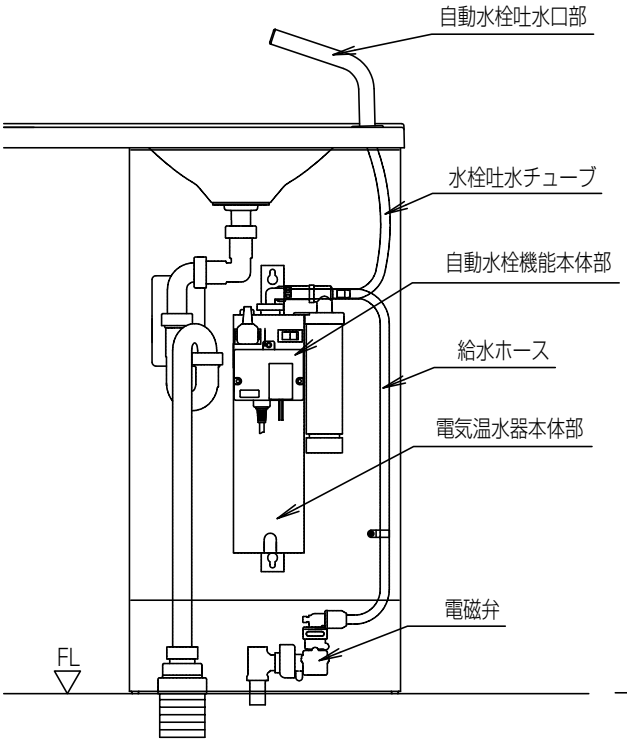
機器本体　※図は(　)内は使用している樹脂材質名です。



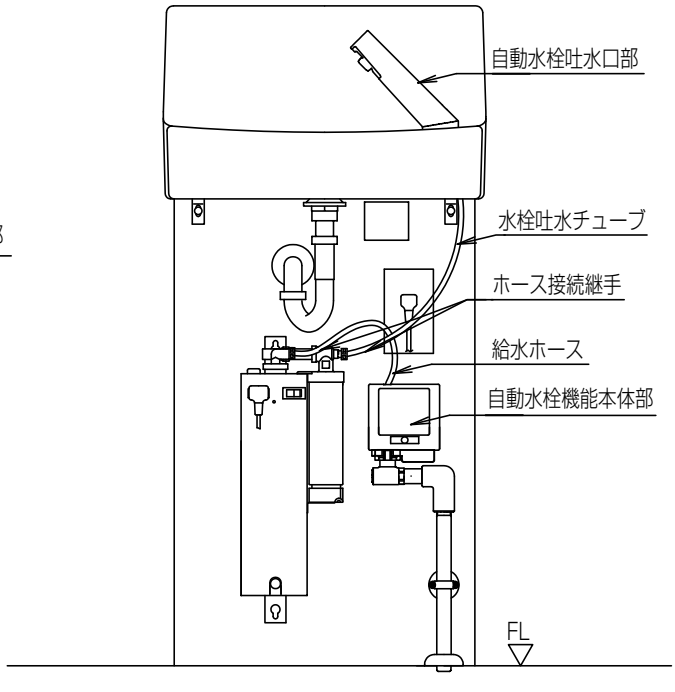
図はEHMN-T1S2

配管図例

【AN-AMREAAKXWEX】



【L-A74UWD】



安全上のご注意（必ずお守りください）

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語の説明

⚠ 警告 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定される場合

⚠ 注意 取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定される場合

記号の説明

⚠ 「注意しなさい!」(上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)

「してはいけません」(一般的な禁止記号です)

「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です)

「分解してはいけません!」

「必ずアースを接続しなさい」

「電源プラグを抜きなさい」

⚠ 警告

	ぬれ手に注意 電源プラグはぬれた手で絶対に触らないでください。 ※感電の恐れがあります。
	水かかり厳禁 ○屋外には設置されていないことを確認してください。 ○屋内でも水がかかったり、表面に結露が生じたりするような湿気の多くなる場所 特に浴室やシャワールームには設置しないでください。 ○機器に水をかけたり、機器上部に濡れたものや洗剤等を置いたりしないでください。 ※機器内部に液体が入りこんで、機器の故障、火災や感電の原因になります。
	分解禁止 修理技術者以外の人は、絶対に分解･修理は行わないでください。 ※火災や感電の原因になります。
	機器の改造禁止 ○内部配線や電源コードの切断･圧着は絶対に行わないでください。 ○内部配線や電源コードを補修する必要がある場合は、現場で加工せずに専用補修部品と交換してください。 ※火災や感電の原因となります。

警告	
	アースの接続 ○設置場所の分電盤等に漏電遮断器が設置されていることを確認してください。 ○アースが必ず接続されていることを確認してください。 ※アース工事がされていない場合や不完全な場合は、感電する恐れがあります。
指示実行	**機器のコンセント** 機器用に設置するコンセントは「接地極付コンセント」をご使用ください。 必ず適したコンセントをご使用ください。また電源プラグの変更は絶対に行わないでください。 ※火災や漏電等の重大故障の原因となることがあります。
指示実行	**ブレーカー作動時の使用中止** 本機器とつながった分電盤のブレーカーが作動した場合、使用を中止し、すみやかに修理を依頼してください。 ※本機器に異常がある恐れがあります。作動したブレーカーを入れ直してご使用を続けた場合、火災や漏電等の重大故障の原因となることがあります。
	機器使用の条件 使用する電源、ヒーター能力を本体の定格銘板で確認し、必ず適した配線をしてください。 ※適していない電圧や配線に接続すると火災の危険性があります。
指示実行	**電源プラグは確実に差し込む** 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。 また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。 ※火災の原因になります。
禁止	**電源コードを傷めない** 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。 また電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。 ※電源コードが破損し、感電･火災の原因となります。
指示実行	**電源プラグのお手入れを** 半年に1回程度は電源プラグを抜き、ほこりを除去してください。 ※火災の原因になります。
禁止	**機器使用の条件** この機器は水道水以外の水(水道事業体が供給する上水以外)での使用はできません。 ※早期に機器が損傷したり、漏水したりする恐れがあります。

⚠ 注意	
禁止	**機器使用の条件** ○この機器は車両、船舶での使用はできません。 ○この機器は太陽熱温水器や、他の給湯機器との接続はできません。 ○この機器は日本国内向けです。国外での使用はできません。 ※機器の故障だけでなく、漏電、漏水などの恐れがあります。
指示実行	**機器使用の条件** この機器は給水圧力0.1～0.75MPa までの範囲でご使用ください。 ※水圧が高い地域に設置した場合、機器の破損や漏水の恐れがあります。
禁止	**空だき禁止** 機器内のタンクが満水になっていない場合は、運転スイッチを「入」にしないでください。 ※機器の破損やヤケドの恐れがあります。
禁止	**凍結予防** 凍結の恐れがある場合は、機器内の水抜きを行ってください。 ※機器が凍結破損し、漏水する恐れがあります。
禁止	**吐水口をふさがない** 吐水口をふさいだり、吐水口にホースをつないだりしないでください。 ※機器の破損や漏水の恐れがあります。
禁止	**機器内蔵のコンセントに専用自動水栓以外を接続しない** 機器のコンセントに専用自動水栓以外の機器を接続しないでください。 ※火災や感電の原因になります。
禁止	**飲用禁止** 飲用や調理への使用は避けてください。 ※場合によっては体調をくずす恐れがあります。

ご承知おきいただきたいこと

本機器は、貯湯式です。
タンク内のお湯を使い切ると、次の湯がわきあがるまでに8分程度必要となります。
なお、給水温度が15℃の時、約36℃のお湯が約1.3Lご使用になれます。

ご使用前のご注意

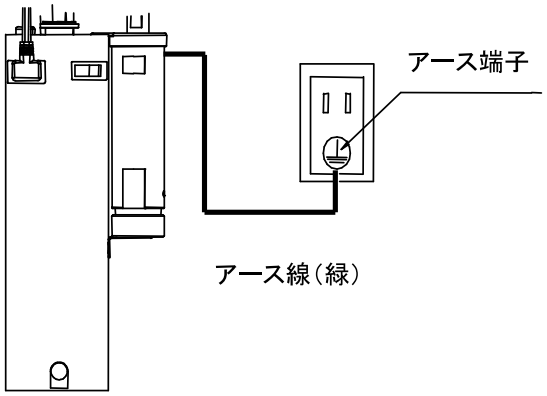
運転開始前の準備と確認

（初めてご使用になる前と水抜きをした後には必ず確認してください。）

①感電防止のためアース工事が行われていることを確認します。

⚠注意

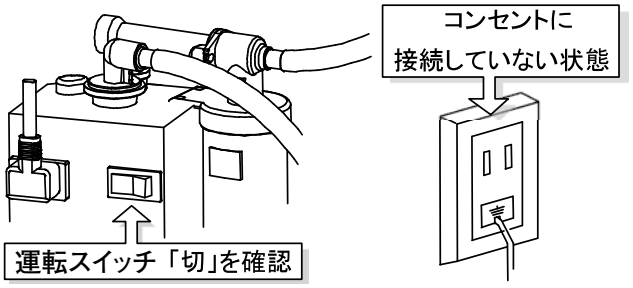
アース線が接続されていることを確認してください。
※感電の恐れがあります。



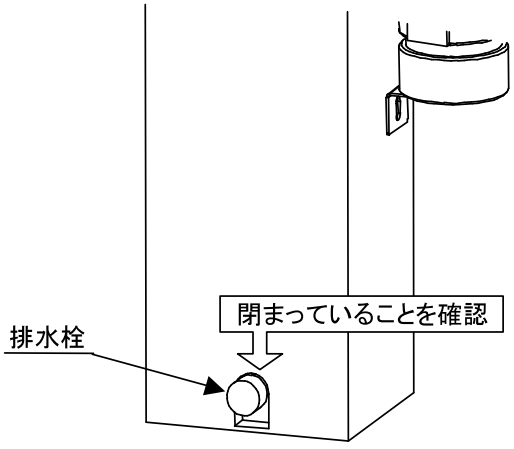
②電源プラグがコンセントに接続されていないこと、および運転スイッチが「切」になっていることを確認します。

⚠注意

機器内の水が空の場合は、運転スイッチ「入」にしないでください。
※空だきとなり、機器の破損やけどの恐れがあります。



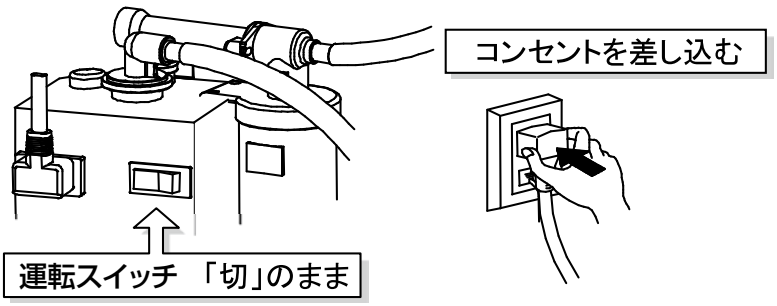
③排水栓が確実に閉まっていることを確認します。



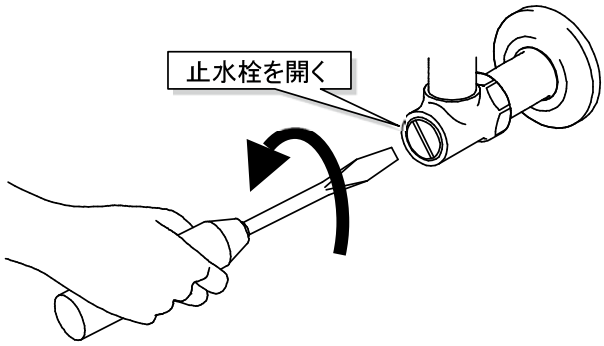
④電源プラグを100V用コンセントに根元まで確実に差し込みます。

⚠ 注意

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
※火災の原因となります。



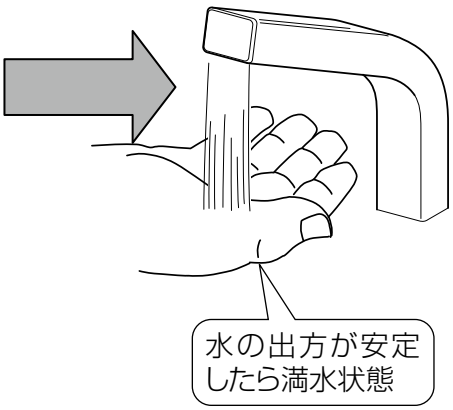
⑤止水栓出を開き、吐水口の下に手をかざして水を出します。
しばらくの間、空気を巻き込みながら、吐水口から水が出てきます。
機器内の空気が抜け、吐水口から安定して水が出るまで流し続けてください。
機器が満水になるのに約30秒かかります。



水の出方が安定するまで続けてください

〈満水になっていない状態〉

〈満水の状態〉



タンクが満水になるまで約30秒かかります。

⑥配管各部の水漏れがないことを点検します。

⚠ 注意

給水完了後に必ず配管から水漏れしないことを確認してください。
※漏水の恐れがあります。

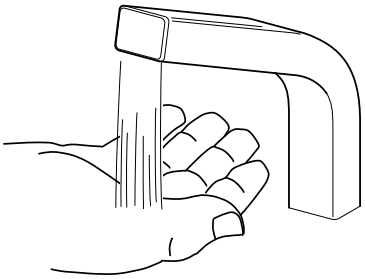
ご使用方法

①吐水口の下に手をかざし、水が出ることを確認します。

⚠注意

吐水口をふさいだり、吐水口にホースをつないだりしないでください。

※機器が破損し漏水の恐れがあります。



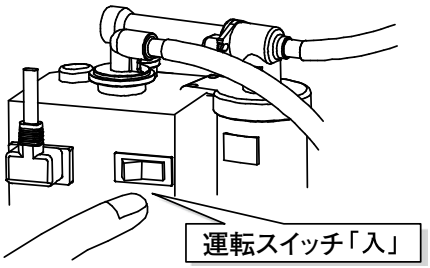
手をかざす

②電気温水器の運転スイッチを「入」にします。(このとき通電ランプが点灯します。)
※水温が15℃の場合で、運転スイッチを「入」にしてから沸き上がるまでに8分程度かかります。

⚠注意

機器内の水が空の場合は、運転スイッチ「入」にしないでください。

※空だきとなり、機器の破損やけどの恐れがあります。



運転スイッチ「入」

③タンク内の水が沸き上がると自動温度調節器が働き、ヒーターへの通電が止まります。
これで湯が使える状態になります。
※このとき通電ランプは消灯します。通電ランプが消灯しても異常ではありません。

④給湯を開始して湯温が下がると再びヒーターに通電されます。
※通電ランプが再点灯します。

使用上の注意

①この機器は貯湯式です。タンク内のお湯を使い切ると、次のお湯がわきあがるまでに8分程度必要となります。

②夏場で湯が不要の場合はスイッチをお切りください。
1週間以上水を流さなかった場合は、再度使用を始める前に30秒程度通水し、タンク内の水を入れ替えてからご使用ください。

■安全装置のリセット方法（運転スイッチ部の通電ランプが点灯しない場合）
空だき等の原因で安全装置が作動した可能性があります。
下記の手順に従って、安全装置をリセットしてください。

⚠注意

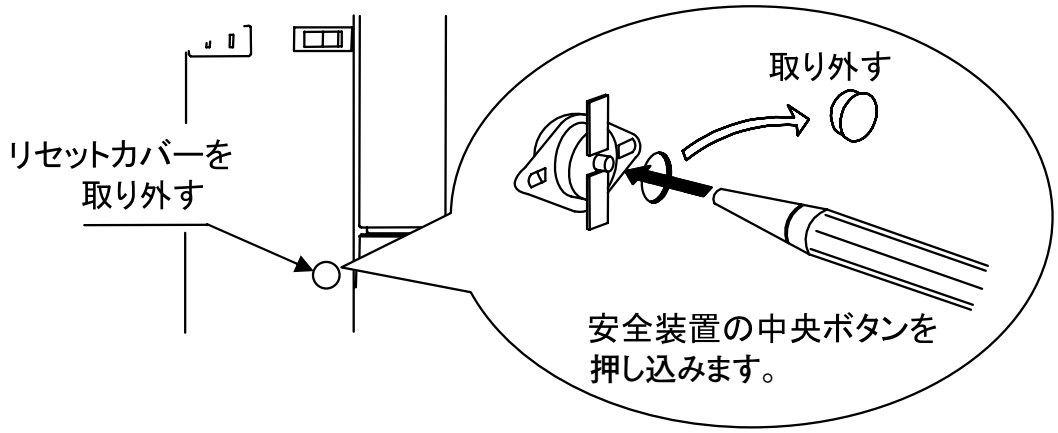
必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業を行ってください。
※感電のおそれがあります。

①運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜きます。

②前扉のリセットカバーを取り外し、ボールペンの端などで安全装置の中央ボタンを押し込みます。

③電源プラグをコンセントに差し込み、運転スイッチを「入」にして、スイッチ部の通電ランプが点灯することを確認します。

④前扉のリセットカバーをしっかりと元の位置に取り付けます。



冬季凍結の恐れがある場合

積雪の多い地方だけでなく、暖かい地域でも思いもよらぬ冷え込みで凍結事故が発生する場合があります。
凍結する恐れがある場合は水抜きをしてください。

⚠ 注意

室温が0℃以下になると考えられるときは、機器の水抜きを行ってください。
水抜きを行う前に、空だき防止のため、運転スイッチを「切」にして、電源プラグを抜いてください。
※機器の漏水や破損の原因になります。

長期間使用しない場合

その期間中に凍結の恐れがあるとき

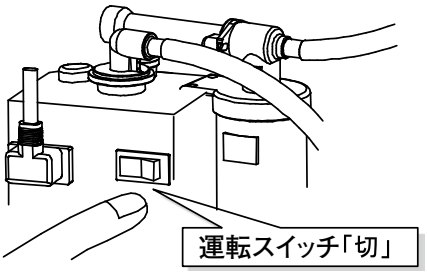
停電が長時間発生すると機器内の水が凍結し、機器を破損させる危険性ががあります。
冬期に長期間使用しない場合は、下記の「水抜き方法」にしたがって機器内の水を抜いてください。

その期間中に凍結の恐れがないとき

運転スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。また止水栓を閉めてください。
※再使用するときには、30秒程度水を流し、タンク内の水を入れ替えてから運転スイッチを入れて使用してください。

水抜き方法

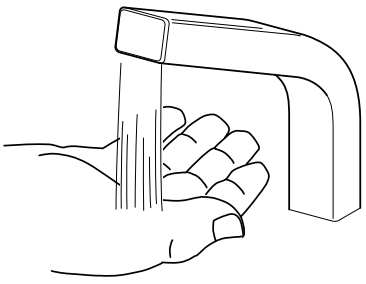
①運転スイッチを「切」にします。



②吐水口の下に手をかざし、吐水口から出てくる温度が水道水と同じになるまで流します。

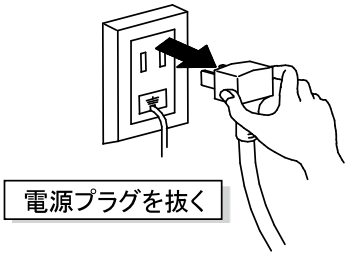
⚠ 注意

機器内のお湯を出し切ってください。
出てくる温度が36℃程度でもタンク内の湯は65℃程度あります。
※機器内に湯が残っていると、水抜き時にヤケドをする恐れがあります。

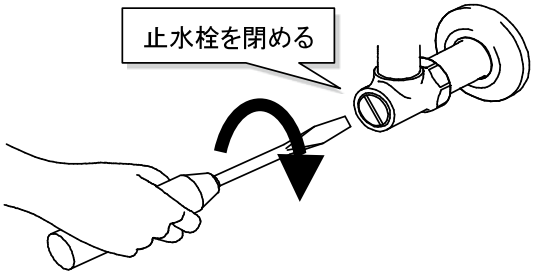


■機器内の水抜き

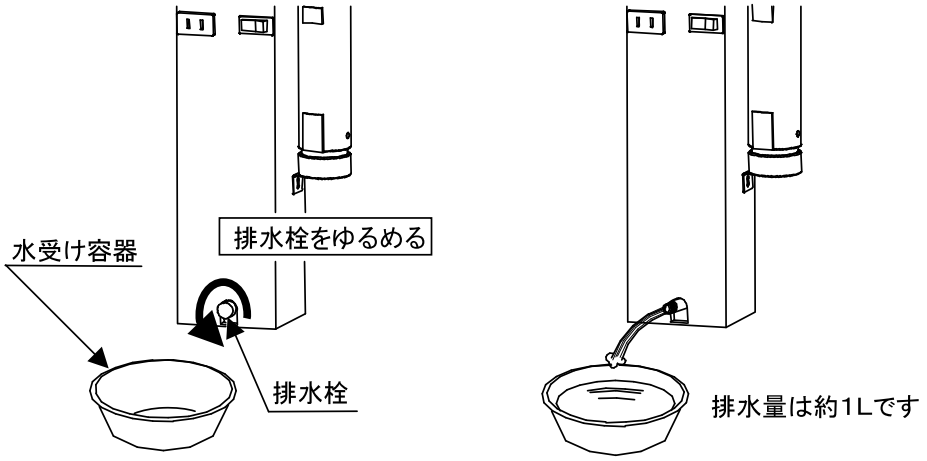
③機器本体の電源プラグをコンセントから抜きます。



④止水栓を閉めます。



⑤排水を容器等で受ける準備をします。
排水栓をゆるめると、機器内の水が出てきますので、容器等を受けてください。
容器が置けない場合は、機器をキャビネットに固定しているビスを取り外し、
機器を持ち上げて排水を容器で受けてください。
※排水完了まで約30秒かかります。



⑥給水ホース内の水抜きを行います。
作業方法については、自動水栓の取扱説明書を参照してください。

○機器を再使用する場合は、5ページの「運転開始前の準備と確認」にしたがってください。
※電磁弁内部が凍結している場合は、自動水栓が作動しないことがあります。
いったん電源プラグを抜き、常温で十分に放置してからご使用ください。

日常の点検

点検、お手入れの項目は、次の通りです。必ず行なってください。

⚠ 注意

○点検、お手入れを行う際は、必ず運転スイッチを「切」にし、機器本体の電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。
※感電のおそれがあります。

○つぎのものは使用しないでください。
・酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類
・ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類
・クレンザー等の粒子の粗い洗剤
※機器の変色や変形の原因となります。

点検・お手入れの項目

1.機器周りの漏水点検(日常)
機器、各給水、給湯管とその接続部分は、長時間の使用により漏水する場合があります。
接続部分から漏水していないか、日常的に点検してください。
漏水を発見した場合は、すぐに止水栓を閉め、お買い求めの販売店、工事店または
LIXIL修理受付センター(連絡先は14ページを参照してください)へご連絡ください。

2.機器のお手入れ(日常)
通常は乾いた布で拭いてください。汚れがひどいときは、適量にうすめた中性洗剤を
しみこませた布でふきとってください。
灯油、シンナー、ベンジン等の溶剤、またはクレンザー等の洗剤は機器を傷めますので
使用しないでください。

3.タンク内の掃除(3ヶ月に1回程度)
長時間の使用でタンク内に汚れがたまる場合があります。運転スイッチを「切」にした後、
1分程度水を流してタンク内の水を入れ替えてください。

故障かなとおもったら

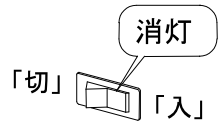
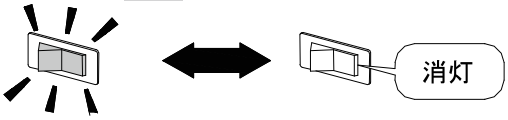
⚠ 注意

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※火災や感電の原因になります。

こんなときは	調べるところ	処置方法
お湯にならない 通電ランプが 点灯しない	停電していませんか?	停電していないか確認してください。
	元電源は入っていますか?	分電盤のブレーカーを入れてください。
	電源プラグは確実に差し込まれて いますか?	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	機器の運転スイッチは「切」になって いませんか?	運転スイッチを「入」にしてください。 →7ページを参照してください。
	空だきにより、安全装置が働いて いませんか?	安全装置をリセットしてください。 →8ページを参照してください。
通電ランプ点灯中に 吐水口からポタポタと 水が出る	10秒程度吐水してください。その後 通電ランプが点灯中に、吐水口から 5滴以上ポタポタと水が出ますか?	出ない場合:13ページの「次のような場合は 故障ではありません」をご参照ください。
		出る場合:機器が破損している可能性があります。 機器外部に漏水するおそれがありますので、 取扱店またはLIXIL修理受付センターへ ご相談ください。
お湯や水が出ない または少ししか出ない 吐水が安定しない	止水栓が閉まっていませんか?	止水栓を開けてください。 →6ページを参照してください。
	断水していませんか?	断水の確認をしてください。
	泡沫口にゴミ等が付着していませんか?	泡沫口を掃除してください。 →水栓金具の説明書を参照してください。
漏水している	本体部からの漏水ですか?	止水栓を閉め、取扱店またはLIXIL修理受付センター へご相談ください。
	配管接続部からの漏水ですか?	漏水箇所を締め直してください。
お湯が汚れている お湯が臭う	タンク内が汚れていませんか?	タンク内を掃除してください。 →11ページを参照してください。

※上記処置で不明な点がございましたら取扱店または当社お客さま相談センターへご相談ください。
修理のご依頼が必要な場合はLIXIL修理受付センターへ修理依頼してください。
連絡先は14ページに記載してあります。

次の場合は故障ではありません

こんなときは	理　由
運転スイッチを「入」にしているのに通電ランプが点灯していない。  	タンク内の水がわき上がると、ヒーターの通電を停止するため通電ランプが消灯します。 タンク内の湯温が下がると、ヒーターの通電を開始するため通電ランプが点灯します。  わきあげ中　　わきあがり完了 7ページ
機器から異音がする	わきあがり近くになると、機器からお湯が沸いている音がします。
吐水口からポタポタと水が出る。	タンク内の水があたためられる際に、膨張水が発生します。この機器は、吐水口から膨張水が出ることを抑える機構を内蔵しておりますが、短時間の吐水を繰り返した場合には機構が十分に作動せず、吐水口から膨張水が出ることがあります。わきあがると、膨張水は止まります。
お湯の温度が低くなる。	タンク内にお湯が無くなったと考えられます。この機器は瞬間式ではありませんので、わきあがりに時間がかかります。
再使用時にお湯の温度が一瞬低くなるまたは高くなる場合がある。	内蔵されているサーモスタットの温度調節に若干時間がかかるためです。
本体が熱くなっている	通常、機器外装部は40℃程度まで上昇します。

アフターサービスについて

1.修理を依頼される前に

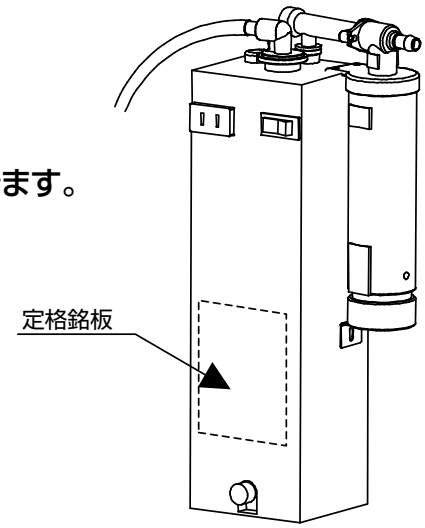
使用していて、故障ではないかと思われたら、12、13ページの「故障かなとおもったら」、「次のような場合は故障ではありません」を参照してください。

2.保証書をご覧ください

●本製品の保証期間はお取付日から2 年間です。
●この取扱説明書の最後のページが保証書になっています。 お取付日、取扱店名などの記入をお確かめのうえ大切に保管してください。
●保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3.修理を依頼されるとき

＜保証期間中の修理＞
・修理に際しては、保証書をご提示ください。
・保証書の規定にしたがって修理させていただきます。
＜保証期間経過後の修理＞
・修理すれば使用できる商品については、有料にて修理させていただきます。
・修理料金は
「技術料」＋「出張料」＋「部品代」で構成されています。
＜連絡していただきたい内容＞
1 ご住所・ご氏名・電話番号
2 商品名・品番・取付年月日
（機器本体の定格銘板をご覧ください）
3 故障内容・異常の状況をできるだけ詳しく
4 訪問ご希望日・お宅までの道順



※お客さまからご連絡いただく氏名や住所等の個人情報は、 商品の点検修理にのみに利用し管理いたします。なお、これらの業務に携わる協力会社へもお客さまの個人情報を開示することがありますが、 弊社と同等の管理を行わせます。

4.部品の保有期間について

この機器の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後6 年です。
この部品保有期間を修理対応可能の期間とさせていただきます。
保有期間が経過した後でも、故障個所によっては修理可能な場合がありますので、ご相談ください。
※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5.修理のご依頼は

お求めの販売店やお近くの水道工事店、または
LIXIL 修理受付センターまで
TEL 0120-179-411
受付時間9:00～20:00 (365 日受付)
FAX 0120-179-456
ホームページアドレスhttp://www.lixil.co.jp/support/

仕様

品番		EHMN-T1S2	EHMN-T1S2-SU
標準出湯量(※1)		約1.3L	
外形寸法(幅×奥行×高さ)		94mm×85mm×316mm	
質量		本体約2.0 kg(満水時約2.8 kg)	
給水方式		元止め式	
使用水圧範囲		0.10～0.75MPa	
電源コードの長さ		約1m	
電気定格	定格電圧	AC100V 50/60Hz	
	消費電力	350W	
タンク	容量	約0.8L	
	材質	特殊ステンレス鋼板	
出湯温度		約36℃(温度範囲33～43℃):安全サーモスタット内蔵タイプ(※2)	
沸き上がり温度		約65℃	
沸き上がり時間		約8分(水温15℃時)	
発熱体	構造	シーズヒーター	
	容量	350W	
自動温度調節器		バイメタル方式(自動復帰式)	
温度過昇防止器		バイメタル方式(手動復帰式)	
使用可能雰囲気温度		0℃～40℃(ただし凍結しないこと)	
日水協認証登録番号		A-395	

※1:水温15℃の場合に使用できる、約36℃のお湯の量。
※2:出湯初期に瞬間的に温度が変化する場合があります。(43℃程度)

特定電気用品の適合性検査証明

本製品は、電気用品安全法第9 条の規定に基づき、特定電気用品の適合性検査証明を受けています。

MEMO

MEMO

LIXIL
INAX

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。

※　品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名：		**（品番：　　）**	
保証期間	**取付日より　2ヶ年**	**取付日**	**年　月　日**
お客さま	**おなまえ**　　様	**取扱店名**	
	おところ		
	おでんわ （　　）　　ー	TEL （　　）　　ー	

無効

お客さまへ

・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。

・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定（保証規定）

1．「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。

2．無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。

3．ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。

4．保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）

(1)用途以外（車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等）に使用した場合の故障及び損傷等の不具合

(2)指定業者や施工説明書等に基づかない施工及び工事に起因する不具合

(3)お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合

(4)専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合

(5)建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合

(6)経年変化使用に伴う外観上の現像（塗装の色あせ、もらい錆等）または使用に伴う消耗部品の摩耗等により生じる不具合

(7)海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合

(8)小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫等）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合

(9)天災地変(火災、爆発等事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害等）に起因する不具合による故障及び損傷

(10)戦争・暴動等破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合

(11)自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象

(12)消耗品（パッキン）類、配管中の異物のつまり等による故障及び損傷

(13)水道水以外を給水したことによって生じた故障及び損傷（※水道水とは、水道事業体が供給する上水をいう）

(14)凍結による故障及び損傷

(15)給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合

(16)ガス・電気・給水等の供給で指定された以外の環境（異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動等）に起因する故障及び損傷などの不具合

(17)指定規格以外のガス・電気・燃料等を使用したことに起因する不具合

(18)保証書の期限切れまたは提示がない場合

(19)本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合

5．本書は日本国内においてのみ有効です。

6．本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明の場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。

7．修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後6ヶ年です。

商品についてのお問い合わせはお客さま相談センターまで

TEL 0120-179-400

FAX 0120-197-430

受付時間　平日　　9：00～18：00

土日・祝日　9：00～17：00

（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

修理のご依頼はLIXIL修理受付センターまで

TEL 0120-179-411

FAX 0120-197-456

受付時間　9：00～20：00（365日受付）

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス http://www.lixil.co.jp/

株式会社 LIXIL

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問い合わせは

お客さま相談センターまで

TEL 0120-179-400

FAX 0120-179-430

受付時間　平日　9:00～18:00
土日･祝日　9:00～17:00（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。
下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050　　FAX 0562-40-4053

インターネット・ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/

修理のご依頼は（本文の「アフターサービス」をお読みください）

お求めの販売店または

LIXIL 修理受付センターまで

TEL 0120-179-411

受付時間　9:00～20:00（365日受付）

FAX 0120-179-456

ホームページアドレス http://www.lixil.co.jp/support/

●当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスなど、当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

GEH-0101(14020)

プラ　梱包袋（本体、付属部品、取扱説明書、施工説明書）

G-0101-0